

平成 2 9 年 第 3 回 定 例 市 議 会

*
*
*
*
*
*
*
*
*

行 政 報 告

北 海 道 恵 庭 市

第3回定例会が開催されるに当たりまして、第2回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

都市間交流について

はじめに、都市間交流について申し上げます。

和木町との交流では、6月24日開催の第28回恵庭花とくらし展に、和木町より西村町議会議長、兼本副議長及び議会事務局職員の3名に参加いただきました。また、7月26日から28日までの3日間、児童・生徒など6名が訪問教育親善使節団として来恵し、交流を深めたところであります。

藤枝市との交流では、7月28日から8月1日には藤枝市の少年サッカーチームが、8月11日から14日には本市の少年サッカーチームが、お互いの市のサッカー大会に参加するなど、相互交流が行われたところであります。

本市では、こうした市民交流などを促進するため、姉妹都市及び友好都市との交流事業を行う団体等に対する補助制度を本年度から開始しており、これまでに3件で40万円の補助金を交付いたしました。

今後も、文化、スポーツ、教育、経済など幅広い分野での交流促進を図り、それぞれのまちの発展につながるよう努めて参ります。

建設部等の移転について

次に、建設部等の移転について申し上げます。

市役所第2庁舎の旧水道庁舎改修工事が終了し、9月19日より建設部が、9月25日より地域職業相談室「ジョブガイド恵庭」がそれぞれ移転し、全面供用することとなっております。また、その後に本庁舎におきましては、1階の通路拡幅など来庁者の利便向上のための施設改修を行う予定となっております。

北朝鮮によるミサ

次に、北朝鮮によるミサイル発射への対応について申し上げます。

イル発射への対応
について

北朝鮮は、8月29日午前5時58分頃、弾道ミサイル1発を発射し、北海道上空を通過して襟裳岬の東方約1,180キロメートルの太平洋上に落下しました。これにより、全国瞬時警報システムJアラートが作動し、ミサイル発射情報及び通過情報は、直ちに防災行政無線により市民へ情報伝達したところであります。

本市では、恵庭市国民保護計画に基づき、午前6時20分に第1配備体制を敷き、情報収集を行うとともに、ホームページで市民に注意喚起したところであります。今回の事態に係る市民からの問合せは数件ありましたが、今後もこうした事態に備えた国民の保護のための措置を的確かつ迅速に実施するよう努めて参ります。

恵庭市災害対策本
部訓練について

次に、恵庭市災害対策本部訓練について申し上げます。

7月25日に、市災害対策本部員の災害対処能力の向上を図ることを目的に、浸水害を想定した災害対策本部訓練を実施いたしました。

訓練は、実践的な訓練方法であるロールプレイング方式により行い、この訓練には、職員79名のほか、北海道や警察、北海道開発局、陸上自衛隊、災害ボランティアセンター連絡会議などの22名の関係機関にもご協力いただき、全体で101名の参加により実施いたしました。今回の訓練を通して、改めて災害発生時の情報連絡や情報共有、市民周知など対策活動の重要性や課題などを再認識したところであります。

今後におきましては、訓練結果の検証を行い、各対策部マニュアルを見直すなど、市の災害対処能力の向上に努めて参ります。

地域防災力の向上
について

次に、地域防災力の向上について申し上げます。

自主防災組織につきましては、本年度に新たに3組織が設立し、32組織、70.6パーセントの組織率となったところであります。引き続き、未設立の町内会への出前講座や設立相談を通して、自主防災

組織率の向上に取り組んで参ります。

また、都市公園内への防災倉庫設置につきましては、3つの自主防災組織より申請があり、8月末時点で、1組織が防災倉庫を設置したところであります。

今後におきましても、こうした自主防災組織への支援事業を通して、より一層自主防災組織の育成及び活性化を図るとともに、10月8日に災害ボランティアセンター連絡会議と連携し「防災フォーラム」を開催するなど、地域防災力の向上も図って参ります。

自衛隊の体制維持・強化について

次に、自衛隊の体制維持・強化について申し上げます。

次期中期防衛力整備計画の策定に向けて、本市に所在する3駐屯地の体制維持・強化が図られるよう、7月28日に市議会議長とともに、防衛省・自衛隊に対し要望を行ったところであります。

また、8月23日には「自衛隊の体制維持・強化を求める恵庭市民の会」として、防衛省・自衛隊及び北海道選出国會議員に対し、恵庭市における自衛隊の体制維持・強化について要望を行ったところであり、また、24日には「北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会」としての要望活動に参加いたしました。

今後も国の動向などを注視しながら、引き続き、自衛隊の体制維持・強化を求める活動を積極的に取り組んで参ります。

日米共同訓練について

次に、日米共同訓練について申し上げます。

北海道大演習場における日米共同訓練「ノーザンヴァイパー」が、8月10日から28日までの19日間、陸上自衛隊第11旅団から約1,300人、米軍からは第3海兵師団約2,000人が参加し、実施されました。

本共同訓練は、日米隊員間の連携強化を図るとともに、沖縄の負担

軽減が大きな目的で実施されたところではありますが、本共同訓練には道内では初めてとなるMV-22オスプレイが参加して実施する旨の公表が本年4月28日に防衛省から示されていたことから、訓練実施予定期間に入った7月13日に道内の演習場周辺自治体と連携し、訓練情報の提供と徹底した安全管理に関する要望書を北海道防衛局長に提出しました。その後、7月28日に公表された訓練概要において、北海道大演習場でのオスプレイの訓練参加が明らかになったことから、同日、市議会議長とともに、市民生活に支障をきたすことのないよう国の責任において万全の安全対策を講じることなどについて要望書を北海道防衛局長に提出したところでもあります。また、8月7日には、オーストラリアで墜落したオスプレイ事故を受け、オスプレイの飛行自粛の緊急要望書を北海道防衛局長に提出するとともに、8月9日には、北海道及び演習場周辺自治体との連名により防衛大臣に緊急要請を行いました。その後、国において同機種の実験機が確認されたことから、訓練への参加がなされたところでもあります。

本共同訓練は、訓練期間中の事故やトラブル、さらには市民生活に支障をきたすような事案の発生はなく無事終了したところではありますが、訓練期間中は、市の対応として、万一の事故等の発生に備え連絡体制を整えるとともに、訓練情報等について速やかにホームページに掲載し市民周知を図ったところでもあります。

行政改革の推進について

次に、行政改革の推進について申し上げます。

現在、平成28年度に策定しました第6次行政改革推進計画に基づき、「行政評価」、「民間活力の活用」、及び「公共施設の有効活用」を更に推進するべく取り組んでおります。

中でも、本年度の行政評価につきましては、健全な財政運営に向けた事務事業の適正化と、職員一人ひとりの改革意識を促すため、評価対象

事業の新たな抽出方法として、課及び職員からの行革提案を募集したところ、97件の応募がありました。

現在、次長職と公募職員で構成される専門部会において、提案の実現に向けた評価を行っているところであります。

また、行政評価と併行して「民間活力の活用」と「公共施設の有効活用」についても、事業のメニュー化等に取り組んで参ります。

地方創生について

次に、地方創生について申し上げます。

地方創生の更なる推進に当たりましては、本市職員一人ひとりの政策形成能力の向上により、新たな政策の企画・立案につなげることが重要であると考えております。

このことから、「恵庭創生懇談会」の座長であります小磯修二氏を政策アドバイザーに迎え、「恵庭市地方創生政策形成ゼミナール」を開設することとし、そのキックオフとなる講演会を8月4日に行いました。

今後、公募による職員11名が参加する本ゼミナールが、総合戦略への反映等を目指して、政策提言に向けた新たな政策の企画・立案につながるよう期待しております。

ふるさと納税の推進について

次に、ふるさと納税の推進について申し上げます。

ふるさと納税事業につきましては、平成28年度より返礼品の贈呈、インターネットを活用した寄附申込みやクレジットカード決済の導入などに取り組んでおります。

本年度は、7月末までに、恵庭市のまちづくりを応援する寄附金として全国各地から3,879件、約5,037万円が寄せられ、大幅な寄附の増額につながったところであります。

しかしながら、全国自治体の返礼品競争の過熱に伴い、本年4月1日付けの総務大臣通知により、高額な返礼品の見直しに関する助言がなさ

れたため、本市におきましても、この通知にしたがった見直しを検討しているところであります。

今後も引き続き、本市の情報発信を積極的に行い、寄附金の確保に努めるとともに、寄附者の意向が反映されるよう、事業の推進に努めて参ります。

サイクルフェスタ・恵庭2017について

次に、サイクルフェスタ・恵庭2017について申し上げます。

本事業は、自転車を通じた恵庭の魅力の再発見、健康増進などを目的とするイベントで、本年度は9月3日に開催いたしました。

今回から初心者向けコースを新設したこともあり、昨年を上回る約200名の方々に参加いただき、秋のはじまりを迎えた恵庭の田園風景などを、それぞれのペースで楽しんでいただきました。

今後も創意工夫を重ね、より良いイベントとして育てて参ります。

(仮)緑と語らいの広場複合施設整備事業について

次に、(仮)緑と語らい広場複合施設整備事業について申し上げます。

昨年12月の事業者選定後より進めておりました基本設計及び実施設計が終了し、7月には事業者と基本協定の締結を行い、8月より工事に着手したところであります。

今後も引き続き、市民の皆様への周知を行い、工事の安全を確保しながら、平成30年4月の開業に向け事業の推進に取り組んで参ります。

市民の広場について

次に、市民の広場について申し上げます。

平成26年度より、地域の生活環境改善に関する要望は「生活環境改善要望」として対応し、市民の広場は、毎年特定のテーマを設定した中で将来のまちづくりに向けた意見交換・懇談の機会として地域毎に開催しております。

本年度は、「ごみについて考える」をテーマにワークショップ形式に

より、7月に恵庭地区で2回、恵み野地区で1回、島松、島松農村地区で1回の計4回開催し、76名の参加をいただき、焼却施設稼働後の運営へ向けた分別や料金等についての意見交換を行いました。

なお、市民の広場で頂いたご意見につきましては、廃棄物減量等推進審議会の分別・収集・料金体系等検討部に報告するほか、今後の検討に活かして参ります。

地域公共交通(エコバス)について

次に、地域公共交通(エコバス)について申し上げます。

本市の公共交通につきましては、昨年度に策定した第2次恵庭市地域公共交通総合連携計画に基づき、エコバス等の更なる利用の推進を図るため、エコバス路線再編を進めているところであります。

6月29日に恵庭市地域公共交通活性化協議会でエコバス路線の見直し案を提示し、7月中旬から8月まで地域説明会を実施して参りました。

今後におきましては、地域から頂いたご意見などをもとに、エコバス路線全体の中で検討して参ります。また、最大課題であります「運行本数の少なさ」の解消のため、現在車両2台の購入を進めており、平成30年4月からエコバス6台による新たな路線・ダイヤでの運行に向けて進めて参ります。

臨時福祉給付金(経済対策分)について

次に、臨時福祉給付金(経済対策分)について申し上げます。

平成28年1月1日において、恵庭市に住民登録されている方で平成28年度の市民税均等割が課税されていない方々に対しまして、一人1万5,000円の給付金を、平成29年3月14日から7月31日まで申請の受付・審査・支給を実施し、計7,182件、1万526名の方々に支給いたしました。

今後、平成31年10月から予定されております消費税率引上げ後の低所得者対策としては軽減税率の導入が予定されており、臨時福祉給付

金事業は今回をもって終了となる旨、国より方向性が示されております。

スポーツ振興について

次に、スポーツ振興について申し上げます。

7月28日から8月2日に山形県で行われました全国高等学校総合体育大会の陸上競技において、恵庭北高等学校陸上部が女子4×100メートルリレーに出場し、見事^{アンダー}U-18日本記録を更新して3位入賞を果たしました。また、8月7日から11日に札幌市で行われました第6回日本リトルシニア東日本選抜野球大会において、恵庭リトルシニア球団が強豪球団を抑えて優勝という素晴らしい成績を収め、これからの活躍が期待されるところであります。

さらに、市内では8月18日に平成13年以来16年ぶりとなる大相撲恵庭場所が総合体育館で開催され、日頃、テレビでしか見ることのできない横綱をはじめとする幕内力士の迫力ある取組を間近に観戦する機会となり、多くの市民の皆様楽しんでいただけたものと思えます。

スポーツ施設の整備について

次に、スポーツ施設の整備について申し上げます。

島松体育館のバスケットゴール改修工事を実施するなど、計画的に施設の整備を進めているところであります。今後も、利用者の皆様安心してご利用していただけますよう環境整備に努めて参ります。

また、恵庭市民スキー場のリフト設備老朽化に伴い、スキー連盟など利用団体との協議を行い、利用者の安全性確保の観点から、本年度の運営を休止することといたしました。今後は、本市の冬季スポーツ振興の拠点施設として早期の整備を進めて参ります。

多子世帯の保育料軽減支援事業について

次に、多子世帯の保育料軽減支援事業について申し上げます。

本市では、現在、北海道の新規補助事業を活用し、子育て世帯の経済

いて

的負担の軽減を図るため、年収640万円未満相当の世帯で、保育所等を利用する第2子以降の3歳未満児の保育料無償化を図るよう準備を進めております。この事業による対象児童数は約120名と見込んでおります。

なお、本定例会におきまして、本事業に係る補正予算を提案させていただき予定としておりますので、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

農業振興について

次に、農業振興について申し上げます。

今年の作況状況であります。春先と6月の降雨により農作業や生育に遅れが見られたものの、その後、高温・多照^{たしやう}が続いたため、石狩農業改良普及センターの生育状況調査によりますと、農作物全般において生育が順調とのことであります。

小麦については、7月下旬より開始された収穫作業が順調に終了し、乾燥調整段階に入っております。

藤枝市との広域連携ネットワークについて

次に、藤枝市との広域連携ネットワークについて申し上げます。

本年度、国の地方創生推進交付金事業として藤枝市との広域ネットワークによる商品ブランド化プロジェクトが採択されました。このプロジェクトにおいて、両市の経済交流を図るため、相互の農商工連携推進ネットワーク同士による新たな広域ネットワークを8月9日に設立し、9月10日の「えにわん産業祭」において、藤枝市から11の事業者が来恵し、恵庭市の事業者とネットワーク会員同士のマッチング商談会を開催いたしました。

今後は、両市の事業者が連携し、それぞれの農産物や技術を活用した新商品や新サービスの開発、農産物の販路開拓などに取り組んで参ります。

夏のイベント事業
について

次に、夏のイベント事業について申し上げます。

6月25・26日の2日間、恵庭市最大の花のイベント「恵庭花とくらし展・えにわマルシェ」を開催しました。2日目は雨天となりましたが、両日の来場者数は延べ2万1,000人を数え、多くの来場がありました。

また、6月から8月にかけて、納涼花火大会や地域の特色を活かした様々なイベントが恵庭・恵み野・島松で開催され、いずれも好天に恵まれ、多くの市民が賑わい楽しみました。

花のウエルカムゾ
ーンの設置につい
て

次に、花のウエルカムゾーンの設置について申し上げます。

昨年度のJR恵み野駅に引き続き、本年度は、JR恵庭駅西口に花のオブジェ1基及びハンギングバスケット40基を、東口には花のオブジェ4基を設置しました。これに合わせ、町内会や老人クラブなどの協力を得て周辺花壇の植栽も行われ、5月末に花のウエルカムゾーンが完成したところであります。

今後も、公共施設等において、訪れる市民や観光客を花で出迎える取組を続けて参ります。

市営住宅柏陽・恵央
団地建替基本構想
について

次に、市営住宅柏陽・恵央団地建替基本構想について申し上げます。

現在、建替基本構想は、本年6月に国土交通省の直轄事業である「平成29年度公営住宅に係るPPP/PFI導入推進事業」として民間コンサルが事業採択を受け、本年度末の策定に向けて取り進めております。

今後は、地域ニーズなどを的確に把握しながら、効果的・効率的な事業を進めるため、民間活力による整備手法について国の補助採択事業者と連携して検討して参ります。

公営企業経営審議
会について

次に、公営企業経営審議会について申し上げます。

上下水道事業の適正かつ効率的な経営に資するため、本年度より公営企業経営審議会を設置し、7月11日に第1回審議会を開催したところ
であります。

第1回審議会では、下水道事業経営戦略策定についての諮問、さらには、上下水道事業の概要や経営状況などについて報告した上で、今後の下水道事業経営戦略策定の進め方についてご審議いただきました。

今後は、下水道事業経営戦略の策定を進めるとともに、決算や予定事業など経営に関する重要な事項についてご審議いただく予定であります。

以上、はなはだ簡単ですが第2回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、今議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。